

シリーズ 市民美術展入賞作品紹介
わたしの作品

【洋画】市展賞
 森の朝



山本知司さん

三十年前に、年を取ってもできる趣味を持ちたいと思い、本格的に油絵を始めました。「森の朝」は、早春の檜籾神社を描いた作品です。地面にどっしりと積もっている雪を表現するため、白を何回も塗り重ねました。日展に常時入選するような腕になり、人に感動を与えるような絵を描きたいです。

【彫刻】市展賞

友だち

市社会教育事業団会長賞



宮本博巳さん

退職してから彫刻を始めました。今ではライフワークの一つとして取り組んでいて、午前中はだいたいやっています。題材は、西宮に住んでいる五歳の孫と近所の犬で、作成に約五カ月かかりました。根気がいりますが、苦労と思ったら続かないので楽しみながら彫っています。受賞は、とても励みになります。

【デザイン】市展賞
 夕悠



川崎悟志さん

以前はデザイン事務所に勤めていましたか、今はフリーでやっています。この作品は、自分の小さい頃をイメージして、夏の夕方に子どもたちがゆったりとした時間を過ごしている懐かしい様子をパステルで描きました。夕焼けの空と夕焼けに染まっている畑の赤に気を使いました。来春、個展を開催する予定です。

【写真】市展賞

私の向こう側



嶋田美雪さん

写真が趣味。以前は一眼レフカメラを使っていただけ、一年前から直感的におもしろいと思ったら、すぐにシャッターが押せる手軽なコンパクトカメラを使っています。この作品では、ガラスに映っている自分の姿とその向こう側にあるトタンとの不思議な感じを出したいと思いました。